



大樹のこころ

ドローン体験

皆さんは子供の頃、どのような未来社会を思い描いていたでしょうか。ニュースなどで都会の夜景を見ると「これこそ自分が想像していた未来の光景だ」と感じる時があります。そんな未来社会の象徴的な存在は「空飛ぶ車」でしょう。近年、空飛ぶ車の開発が進んでいますが、実用化まではあと一歩といったところでしょうか。しかし、現在実用化されてきている空飛ぶ機器があります。そうドローンです。

本日、本校ではクラブの時間に、子供たちがドローンの操作体験を行いました。学校でドローンの活用って何の勉強なのかと疑問に思われるかもしれませんが、これはプログラミング学習の一環となります。ドローン操作にチャレンジしたのは「プログラミングクラブ」の子供たち。日頃はタブレットを活用してアプリの中でプログラミング活動を楽しんでいますが、今日の相手はドローンです。本校にはドローンがないので、民間会社が協力してくれました。

体験会の最初はドローンについての学びです。「ドローンの種類」や「安全な飛ばし方」「飛ばす上でのルール」などを職員の方から説明を受けます。聞いていて、細かい約束がたくさんあることに驚きました。その後いよいよ操縦体験です。ここから子供たちの目はキラキラと輝き出します。操作するのは小型ドローン。屋外での操縦には許可が必要となりますが、今日は教室内での飛行ということで問題はありません。子供たちは自分のタブレットとドローンをWi-Fiでつなぎ、飛行態勢に入ります。ドローンが離着すると歓声が起こります。操縦法はいたって簡単。タブレットに映し出される操縦かんを触るだけで、自分の行きたい方向へ進んでいきます。現代っ子は、日頃から携帯ゲーム機やタブレットでデジタル機器の操作はお手の物。上手に目的地までドローンを飛ばすことができていました。

クラブの後は、教職員の研修となりました。あくまで自主的な研修としての位置づけですが、興味関心が高く多くの先生が体育館に集まってきました。大人の研修ということで、子供たちが扱っていた物より大型なドローンも活用。実技操作の時間になると、先生方も子供と一緒に、操縦が楽しくてたまらない様子でした。予定の研修時間を過ぎても、体験会が続いていくほど盛況となりました。

自分が子供の頃に夢見ていた「未来社会」が、もはや現実になってきている。そんなことをふと思いました。

